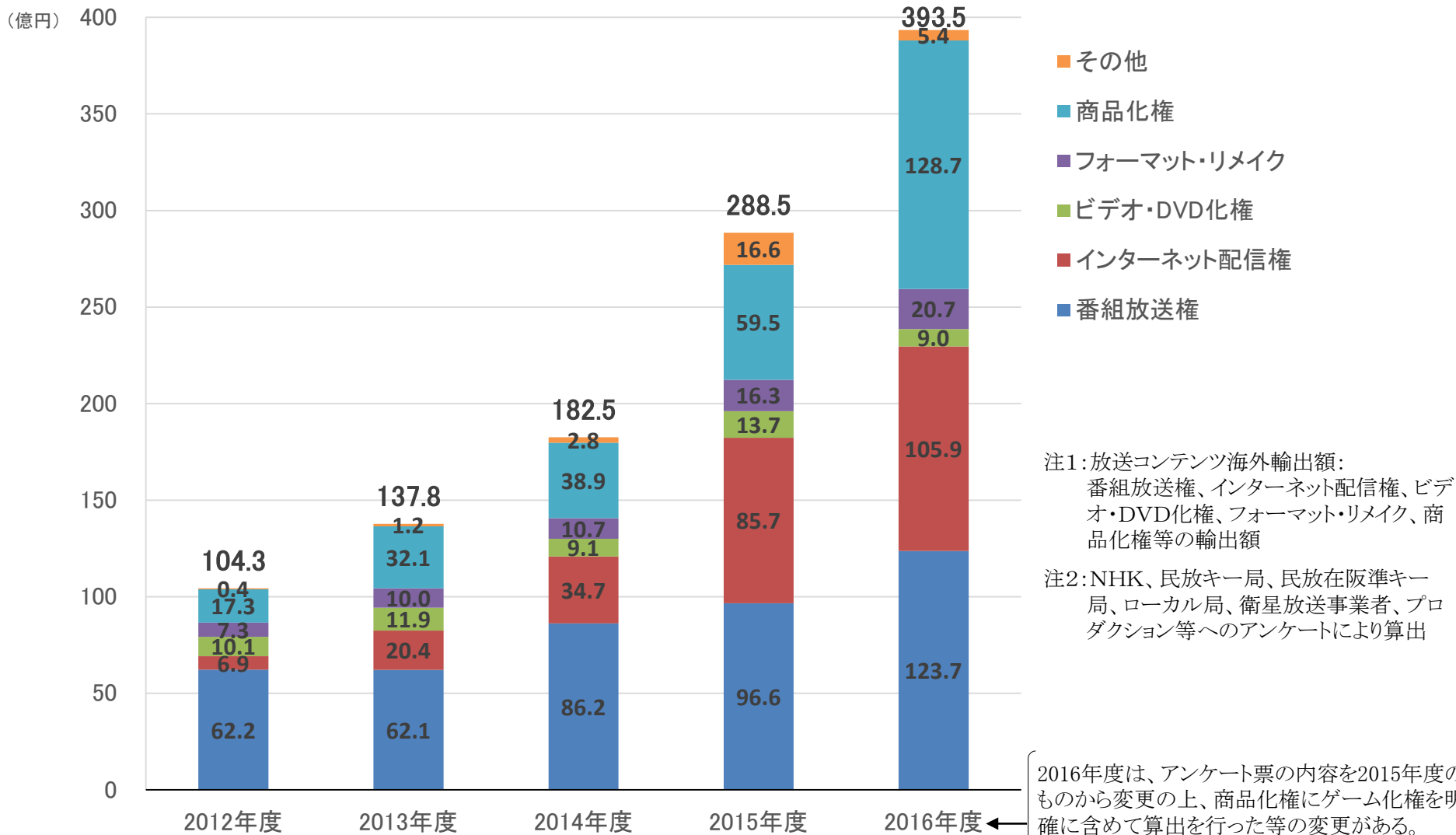


放送コンテンツの海外展開に関する現状分析 (2016年度)

平成30年6月
総務省情報流通行政局

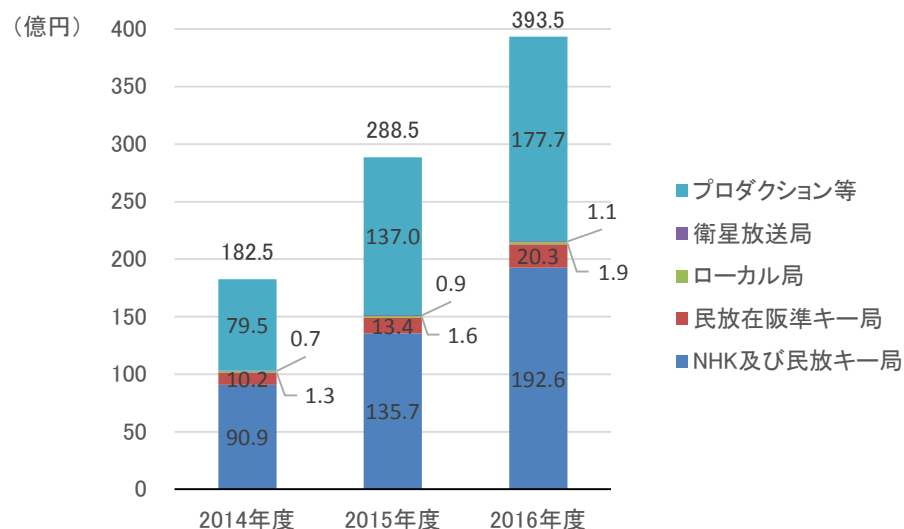
日本の放送コンテンツ海外輸出額の推移

2016年度の放送コンテンツ海外輸出額は、引き続き増加し、393.5億円となった。内訳を見ると、「番組放送権」、「インターネット配信権」、「フォーマット・リメイク」、「商品化権」が引き続き着実に増加し、「ビデオ・DVD化権」は減少に転じている。

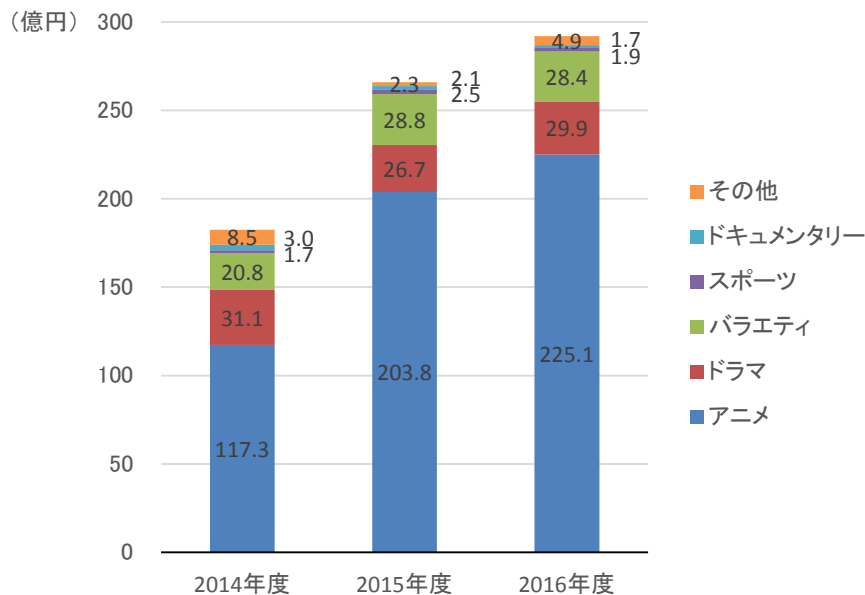


放送コンテンツ海外輸出額の推移をみると、主体別ではいずれの主体も引き続き伸びている。ジャンル別では「アニメ」及び「ドラマ」が、輸出先別では「アジア」及び「北米」が引き続き伸びている。

輸出額の推移（主体別）

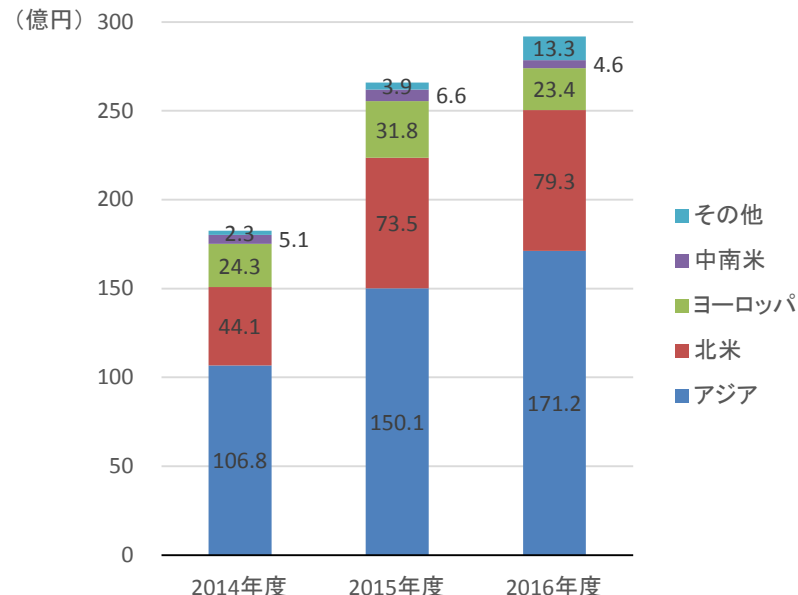


輸出額の推移（ジャンル別）



注：上記グラフでは不明分を除いて集計

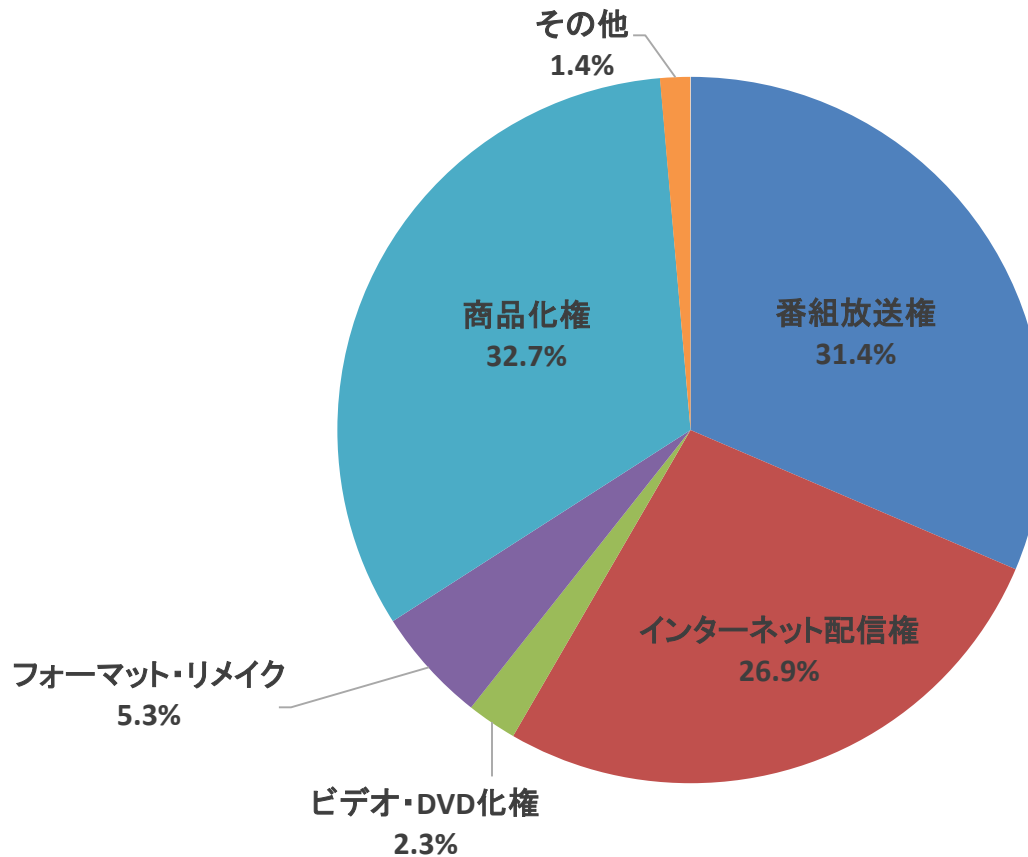
輸出額の推移（輸出先別）



注：上記グラフでは不明分を除いて集計

放送コンテンツ海外輸出額の構成比率（2016年度）

放送コンテンツ海外輸出額の構成をみると、「番組放送権」(31.4%)及び「商品化権」(32.7%)が多くを占め、次いで「インターネット配信権」(26.9%)となっている。「フォーマット・リメイク」(5.3%)も一定規模の割合となっている。



注1: 商品化権、ビデオ・DVD化権には、キャラクターなどの商品の売上、ビデオ・DVDの売上は含まない。

注2: 各項目のパーセンテージは、2016年度の放送コンテンツ海外輸出額に占める割合。

注3: 各項目に明確に区分できない場合には、番組放送権に分類。また、放送コンテンツ海外輸出額の内訳を未回答のものについては、番組放送権に分類。商品化権はゲーム化権を含む。

・番組放送権(31.4%)

→番組放送権の販売による番組の「完成パッケージ(完パケ)」の販売は、海外展開の伝統的な方法であり、翻訳(字幕や吹き替え)などにより販売先の国に対応(ローカライズ)させて海外で放送

・インターネット配信権(26.9%)

→海外の動画配信サイトが、放送番組を現地の国に対応(ローカライズ)させてネット配信する権利

・ビデオ・DVD化権(2.3%)

→放送番組をビデオ・DVD化して海外で販売する権利

・フォーマット・リメイク(5.3%)

→バラエティ番組などのコンセプトや制作手法をフォーマットとして海外へ販売、又はドラマなどの舞台設定や登場人物などの構成要素を取り出してリメイク権として販売し、それに基づいて海外の放送局・制作会社が現地の出演者やスタッフを活用して番組を制作・放送

・商品化権(32.7%)

→例:アニメなどの放送番組のキャラクターを商品化して海外で販売する権利。
2016年度調査ではゲーム化権を明確に含めて算出。

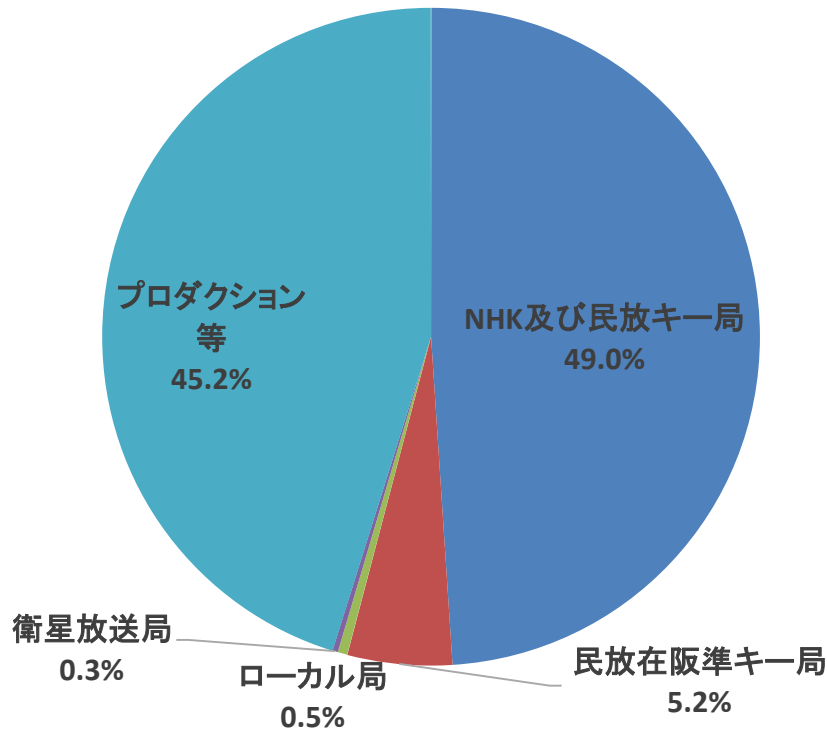
・その他(1.4%)

→例:放送番組の一部を海外の番組の中で番組素材(フッター)として活用する権利等

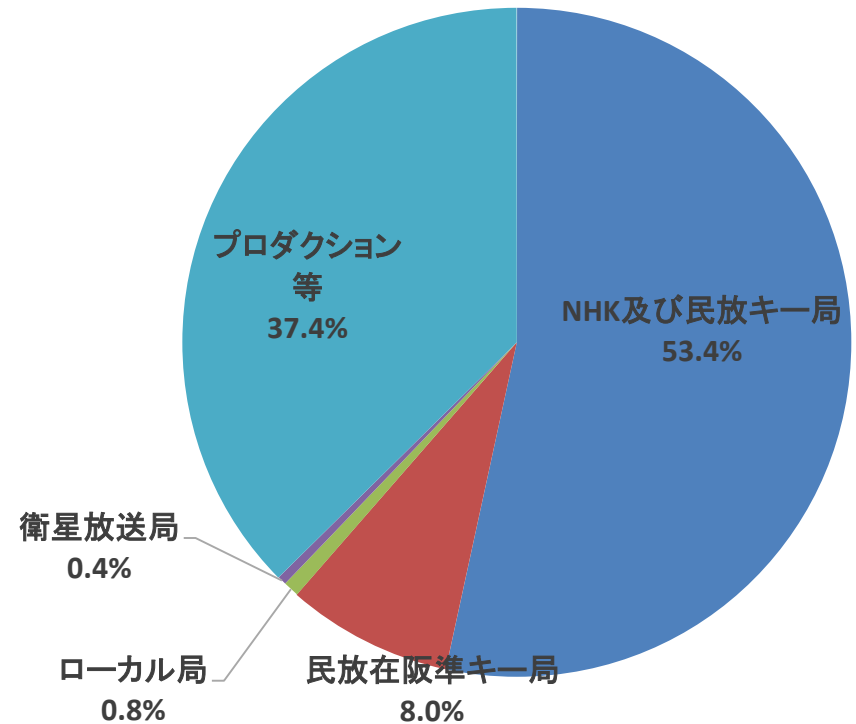
主体別の放送コンテンツ海外輸出額（2016年度）

放送コンテンツ海外輸出額を主体別にみると、「NHK及び民放キー局」が49.0%、「プロダクション等」が45.2%、「民放在阪準キー局」が5.2%、「ローカル局」が0.5%、「衛星放送局」が0.3%となっている。番組販売権の輸出額では、「プロダクション等」が占める割合がやや下がる。

放送コンテンツ海外輸出額 （主体別）



番組販売権の輸出額 （主体別）



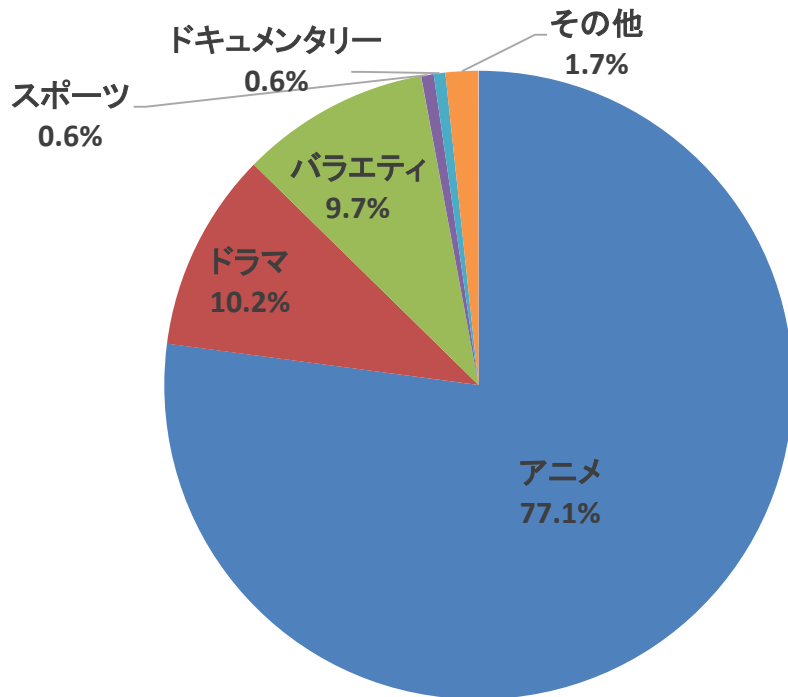
海外輸出している番組の例（2016年度）

ジャンル	番組タイトル	ジャンル	番組タイトル
アニメ	赤毛のアン 機動戦士ガンダム鉄血のオルフェンズ 逆転裁判～その「真実」、異議あり！～ ドラえもん ドラゴンボール NARUTO-ナルト-疾風伝 ラブライブ！サンシャイン!!	バラエティ	行きたがりーノ SASUKE 大改造!! 劇的ビフォーアフター 旅ずきんちゃん たべごろ VS嵐 ¥マネーの虎 LOVE HOKKAIDO
ドラマ	あさが来た 手裏剣戦隊ニンニンジャー 深夜食堂 東野圭吾「カッコウの卵は誰のもの」 火の粉 福岡恋愛白書 僕のヤバイ妻	ドキュメンタリー	時を紡いで ワイルドライフ
		スポーツ	全日本プロレス中継番組 トップリーグ(ラグビー)
		紀行番組等	ニッポン釣り四景(4K) What's hot in Japan 夢見るピノキオ

ジャンル別の放送コンテンツ海外輸出額（2016年度）

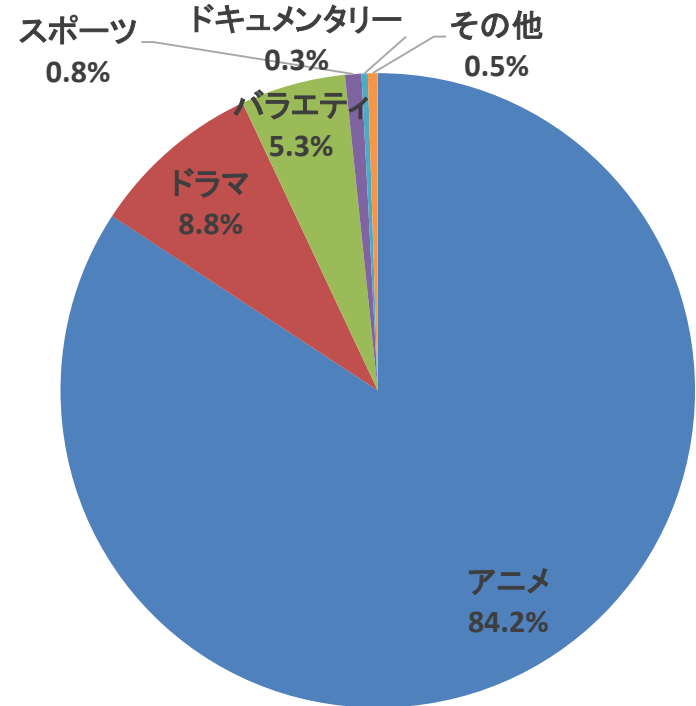
放送コンテンツ海外輸出額をジャンル別にみると、「アニメ」が8割近くを占め、次いで「ドラマ」（10.2%）、「バラエティ」（9.7%）、「スポーツ」（0.6%）、「ドキュメンタリー」（0.6%）がそれに続いている。番組販売権の輸出額では、「アニメ」が8割以上を占める。

放送コンテンツ海外輸出額 （ジャンル別）



注：上記グラフでは不明分を除いて集計。
不明分には「ゲーム化権」の輸出額が全て含まれる。

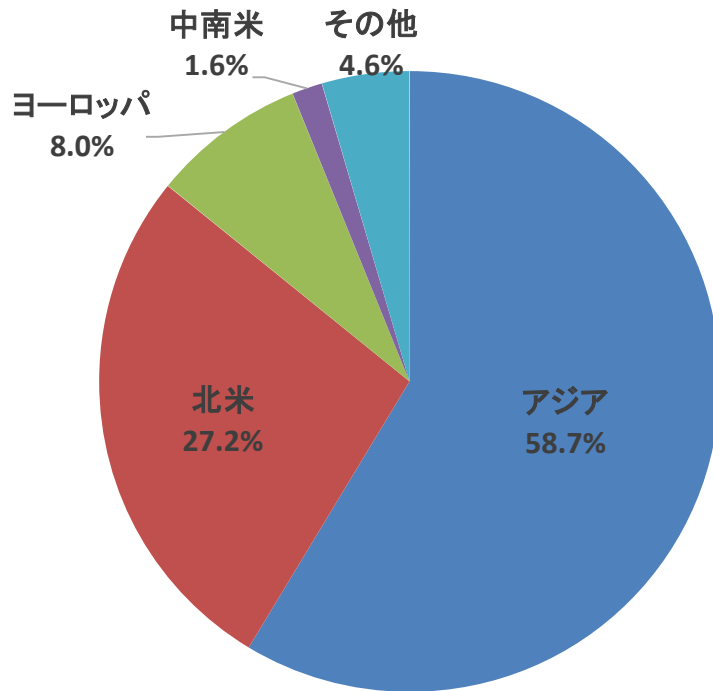
番組販売権の輸出額 （ジャンル別）



注：上記グラフでは不明分を除いて集計。

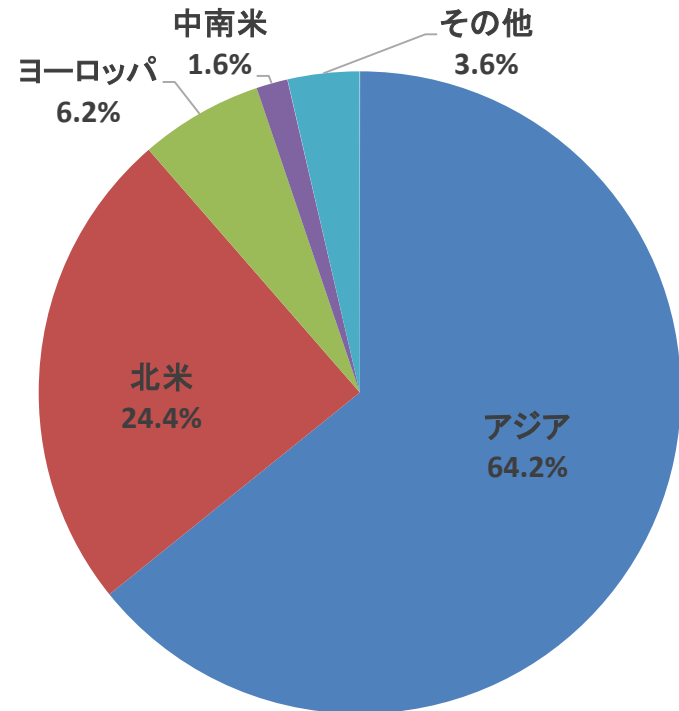
放送コンテンツの輸出先は、「アジア」が58.7%を占め、次いで「北米」(27.2%)、「ヨーロッパ」(8.0%)、「中南米」(1.6%)が続き、日本の放送コンテンツはアジアを中心に多様な輸出先に展開されている。番組販売権の輸出先では、「アジア」が占める割合が更に高くなっている。

放送コンテンツ海外輸出額 (輸出先別)



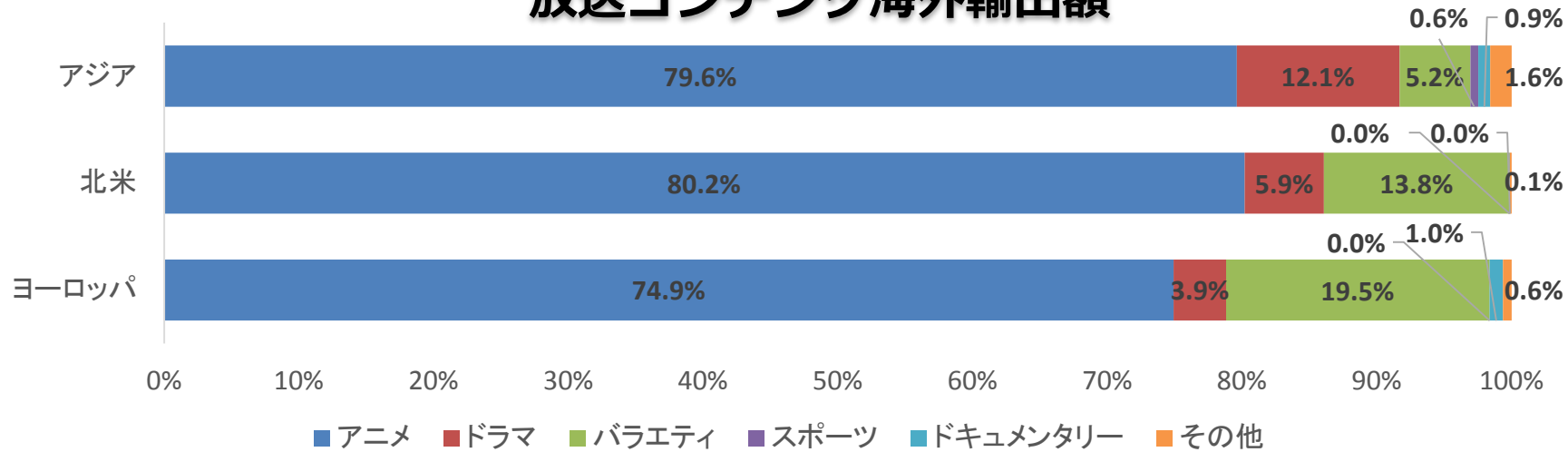
注: 上記グラフでは不明分を除いて集計。
不明分には「ゲーム化権」の輸出額が全て含まれる。

番組販売権の輸出額 (輸出先別)



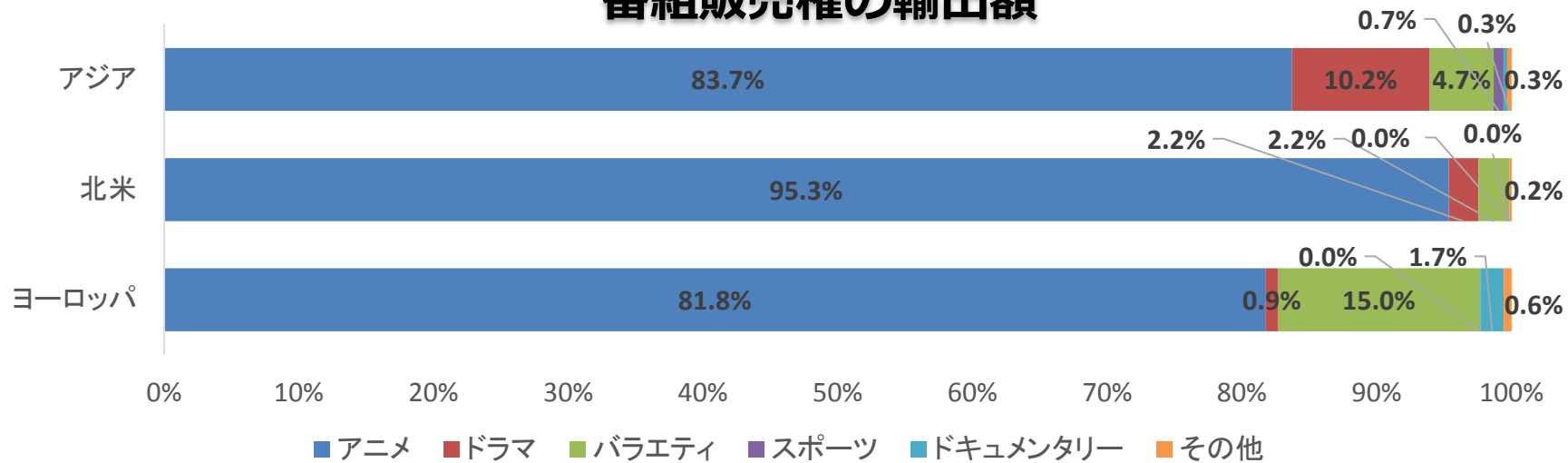
注: 上記グラフでは不明分を除いて集計。

放送コンテンツ海外輸出額



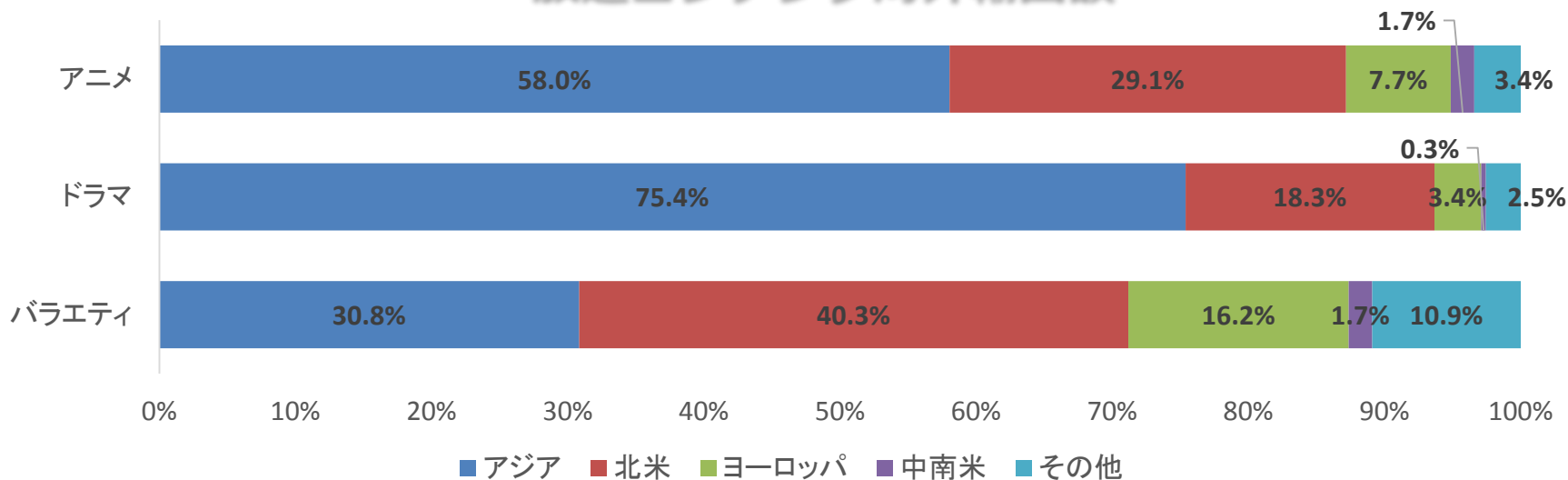
注：上記グラフでは不明分を除いて集計。不明分には「ゲーム化権」の輸出額が全て含まれる。

番組販売権の輸出額



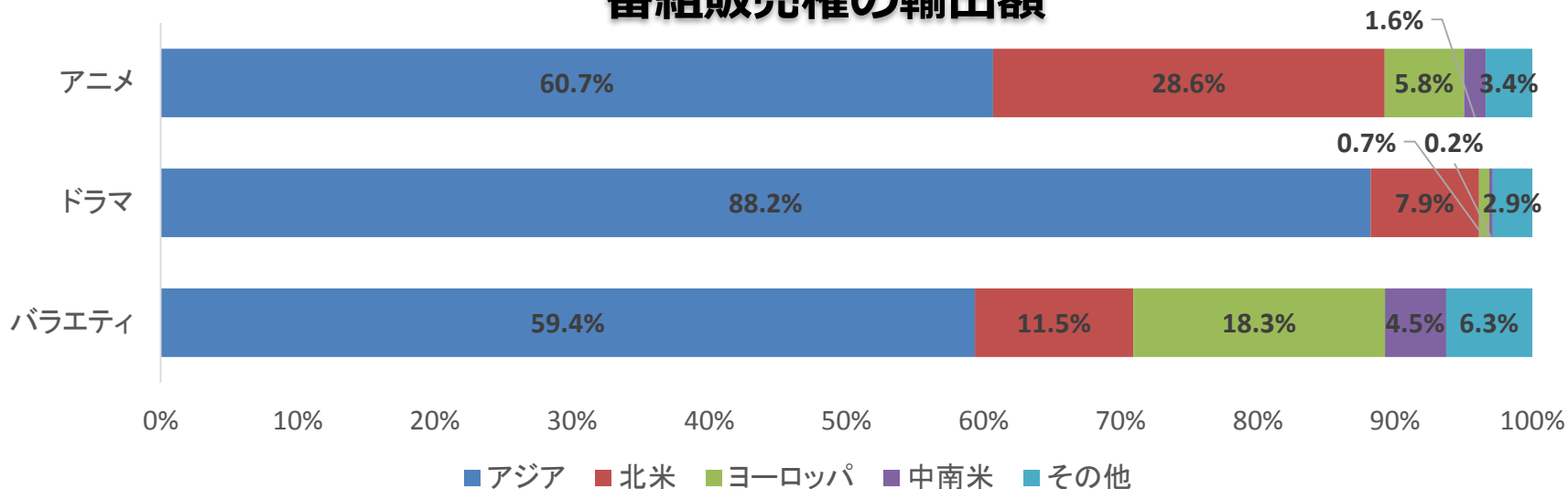
注：上記グラフでは不明分を除いて集計。

放送コンテンツ海外輸出額



注：上記グラフでは不明分を除いて集計。不明分には「ゲーム化権」の輸出額が全て含まれる。

番組販売権の輸出額



注：上記グラフでは不明分を除いて集計。

調査方法と調査期間

調査項目	・2016年度における海外向け放送コンテンツ関連販売額 （2016年度に収入のあった額）
調査方法	・電子メールでのアンケート配布・回収

対象メディアと回答者数

メディア別	回答者数
地上基幹放送事業者 （テレビジョン放送事業者、NHKを含む）	96
衛星系放送事業者	44
プロダクション等	7
合計	147

注1：地上基幹放送事業者は、NHK、民放キー局、準キー局、ローカル局のテレビジョン放送事業者全社を対象

注2：衛星系放送事業者等は、衛星放送協会の正会員社のうち地上基幹放送事業者関連の社等を除いて対象

注3：プロダクション等は、日本動画協会加盟社のうち海外展開を行う部門を有することが確認できる社等であって2015年度調査において海外売上高が計上された社を対象

主体別の海外輸出額 (百万円)

2016年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組販売権の輸出額
NHK及び民放キー局	19,262	12,746
民放在阪準キー局	2,027	1,909
ローカル局	185	184
衛星放送局	105	102
プロダクション等	17,767	8,924
計	39,347	23,864

ジャンル別の海外輸出額 (百万円)

2016年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組販売権の輸出額
アニメ	22,506	18,739
ドラマ	2,990	1,951
バラエティ	2,840	1,187
スポーツ	187	185
ドキュメンタリー	174	71
その他	492	111
不明	10,156 ^注	1,620
計	39,347	23,864

輸出先別の海外輸出額 (百万円)

2016年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組販売権の輸出額
アジア	17,118	14,275
北米	7,933	5,429
ヨーロッパ	2,342	1,376
中南米	462	352
その他	1,330	806
不明	10,162 ^注	1,626
計	39,347	23,864

注:「ジャンル別の海外輸出額」及び「輸出先別の海外輸出額」における「放送コンテンツ海外輸出額」の「不明」には、「ゲーム化権」の輸出額が全て含まれる。

アジア向け輸出額の
ジャンル別内訳 (百万円)

2016年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組販売権の輸出額
アニメ	12,592	10,891
ドラマ	1,911	1,331
バラエティ	830	618
スポーツ	95	95
ドキュメンタリー	138	37
その他	251	40
不明	1,302	1,263
計	17,118	14,275

北米向け輸出額の
ジャンル別内訳 (百万円)

2016年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組販売権の輸出額
アニメ	6,318	5,124
ドラマ	464	119
バラエティ	1,086	120
スポーツ	1	1
ドキュメンタリー	1	1
その他	9	9
不明	54	55
計	7,933	5,429

ヨーロッパ向け輸出額の
ジャンル別内訳 (百万円)

2016年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組販売権の輸出額
アニメ	1,671	1,039
ドラマ	87	11
バラエティ	436	191
スポーツ	0	0
ドキュメンタリー	22	22
その他	14	7
不明	111	106
計	2,342	1,376

アニメの輸出先別内訳 (百万円)

2016年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組販売権の輸出額
アジア	12,592	10,891
北米	6,318	5,124
ヨーロッパ	1,671	1,039
中南米	375	283
その他	738	609
不明	812	793
計	22,506	18,739

ドラマの輸出先別内訳 (百万円)

2016年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組販売権の輸出額
アジア	1,911	1,331
北米	464	119
ヨーロッパ	87	11
中南米	9	4
その他	65	44
不明	455	443
計	2,990	1,951

バラエティの輸出先別 内訳 (百万円)

2016年度	放送コンテンツ海外輸出額	番組販売権の輸出額
アジア	830	618
北米	1,086	120
ヨーロッパ	436	191
中南米	46	46
その他	293	65
不明	150	146
計	2,840	1,187

- 2016年度分の調査では、海外との取引手法や取引相手先の多様化といった昨今の放送コンテンツを取り巻くビジネス構造の変化等を踏まえ、アンケートの送付業種等及び算入する収入の種類を拡大した調査も実施※¹し、この結果は515.9億円※²(暫定値)となった。今後、複数年の調査結果を踏まえて、整理する予定。

※¹ アンケート送付業種等の拡大:対象メディアと回答社数は、P. 11で示すものに加えて、「プロダクション等」、「ビデオ・レコード会社」、「広告代理店」、「商社」、「業界団体」等から、計29者が回答。

算入する収入の種類:配信事業者向けの新規制作・配信契約収入、海外企業からの制作受託収入、海外作品への出資配分収入、国際共同制作における相手方出資額、海外におけるイベント興業収入や自ら販売したグッズ等の収入を「その他」に算入。

※² 内訳は以下のとおり:

番組放送権:217.3億円、インターネット配信権:114.2億円、ビデオ・DVD化権:10.0億円、
フォーマット・リメイク:20.8億円、商品化権:139.2億円、その他:14.4億円